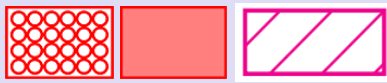


【大雨のとき、そこにとどまっていたらだいじょうぶ？ かくにんフロー】

スタート

① ハザードマップに学校・自宅・よく行く場所に印をつけましょう。  
 印をつけた場所ごとに、②から確認していきましょう

② ①で印をつけたところは、水害によって建物がたおれるおそれがある地域  
 (家屋倒壊等氾濫想定区域)に入っていますか？



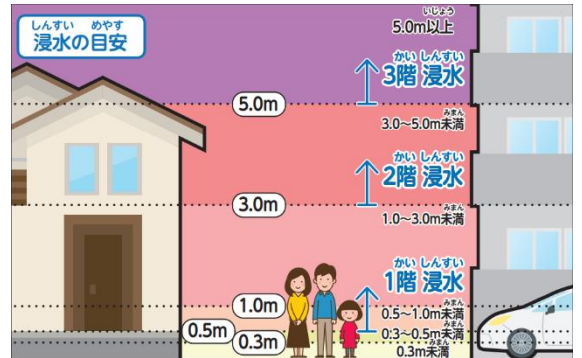
←このような印のはんい

また、土砂災害について、危険な区域に入っていますか？

はい (どれか1つでも入っている)  いいえ → ③へ

③ ①で印をつけたところは、どのくらいの高さまで水につかりますか？水につ  
 からない高さに部屋はありますか？

(洪水ハザードマップ: m未満)  
 (内水ハザードマップ: m未満)



いいえ (どちらか1つでも)

はい (水につかる部屋もあるが、つからない部屋もある) → ④へ

水につからない → うらの⑦へ

うらの⑤へ

④ 建物が水につかるのは、水につからない高さの部屋で、  
 水がひくまでの期間「がまん」できるような短い期間  
 (例: 12時間未満) ですか？ または、水・食料・非常用  
 トイレ・毛布・薬などの、自分たちにとって必要な備蓄が  
 不足しないなどの準備がありますか？

(浸水継続時間: 時間未満)

いいえ → うらの⑥へ

がまんできるくらい短い・準備がある → うらの⑦へ

浸水深 0.5m 以上が 継続する時間	継続する時間
12時間未満	12時間未満
12時間～1日未満	12時間～1日未満
1日～3日未満	1日～3日未満
3日～1週間未満	3日～1週間未満
1週間～2週間未満	1週間～2週間未満
2週間以上	2週間以上

【<sup>おおあめ</sup>大雨が<sup>なが</sup>長くつづきそうなとき、<sup>かわ</sup>川の<sup>みず</sup>水が<sup>ていぼう</sup>堤防に<sup>ちか</sup>近づいているときは・・・】

⑤ <sup>きけん</sup>とどまっていますは<sup>危険</sup>です！ <sup>かなら</sup>必ず<sup>あんぜん</sup>安全な<sup>ひなん</sup>ところへ<sup>避難</sup>しましょう！



<sup>かわ</sup>川から<sup>あふれる</sup>水が<sup>いきおい</sup>いきおいで<sup>たてもの</sup>建物が<sup>こわれたり</sup>こわれたり、<sup>すいぼつ</sup>水没したりする<sup>かも</sup>かもしれません。

<sup>がけ</sup>がけや<sup>やま</sup>山の<sup>ちか</sup>近くでは、<sup>どしゃさいがい</sup>土砂災害で<sup>たてもの</sup>建物が<sup>こわれる</sup>こわれる<sup>かも</sup>かもしれません。

<sup>まん</sup>万が一、<sup>いち</sup>逃げ遅れてしまったら、<sup>そのば</sup>その場・<sup>そのとき</sup>そのときに<sup>いちばんあんぜん</sup>一番安全と思われ<sup>おも</sup>る<sup>ばしょ</sup>場所で<sup>み</sup>身を<sup>まもり</sup>まもらしましょう。

⑥ <sup>あんぜん</sup>より安全な、<sup>とどまる</sup>とどまる<sup>こと</sup>ことができる<sup>ばしょ</sup>場所へ<sup>避難</sup>した<sup>ほう</sup>ほうが<sup>よい</sup>よいです



<sup>どうろ</sup>道路が<sup>しんすい</sup>浸水する<sup>まえ</sup>前に、<sup>みず</sup>水につか<sup>らな</sup>らない<sup>ちいき</sup>地域や「<sup>しんすい</sup>浸水<sup>じぞくじかん</sup>継続時間」が<sup>より</sup>より<sup>すく</sup>少ない<sup>ちいき</sup>地域へ<sup>いどう</sup>移動する<sup>ほう</sup>ほうが<sup>よい</sup>よいです。

また、<sup>じたく</sup>自宅の場合、<sup>ばあい</sup>長い<sup>なが</sup>時間<sup>じかん</sup>浸水した<sup>ばあい</sup>場合でも<sup>とどま</sup>とどまれる<sup>よう</sup>ように、<sup>びちく</sup>備蓄を<sup>ようい</sup>用意する<sup>よう</sup>にしましょう。

⑦ <sup>とどま</sup>とどまって、<sup>こうずい</sup>洪水の<sup>きけん</sup>危険が<sup>さる</sup>さるのを<sup>まち</sup>まちましよう



<sup>むり</sup>無理に<sup>そと</sup>外に<sup>いどう</sup>でて<sup>移動</sup>したりせず、<sup>こうずい</sup>洪水の<sup>きけん</sup>危険が<sup>さる</sup>さるのを<sup>まち</sup>まちましよう。

ただし、<sup>しんすい</sup>浸水しない<sup>ばあい</sup>場合でも、<sup>ていでん</sup>停電・<sup>まど</sup>窓ガラスや<sup>やね</sup>屋根が<sup>こわ</sup>壊れて<sup>あめかぜ</sup>雨風が<sup>は</sup>はいて<sup>くる</sup>くる・<sup>あまも</sup>雨漏りが<sup>ほっせい</sup>発生する<sup>など</sup>など、<sup>そのば</sup>その場にと<sup>とどま</sup>とどまれ<sup>な</sup>なくなる<sup>ばあい</sup>場合も<sup>あ</sup>あります。<sup>まん</sup>万

<sup>いち</sup>が一に<sup>ひなん</sup>そなえて、<sup>避難</sup>場所や<sup>避難</sup>所について<sup>かくにん</sup>確認を<sup>し</sup>してお<sup>き</sup>ましよう。

<sup>ひなん</sup>避難先は<sup>どこ</sup>どこに<sup>しま</sup>しますか？<sup>い</sup>いくつか<sup>かんが</sup>考えて<sup>お</sup>おきましよう。

- ハザードマップの<sup>避難</sup>場所 ( )
- しんせきなどの<sup>うち</sup>家 ( )
- そのほか ( )

かぞくとの<sup>きめ</sup>きめごと ( <sup>だれ</sup>どんなとき<sup>れんらく</sup>誰と連絡をとるか、<sup>ひとり</sup>一人<sup>ま</sup>でいるときは<sup>どこ</sup>どこで<sup>まち</sup>待つかなど )

[ ]